



1958年12月1日創立 国際ロータリー 第2730地区

鹿児島南ロータリークラブ

2022-2023年度 国際ロータリーテーマ
「イマジン ロータリー」

2022-2023年度 RI第2730地区スローガン
「知力を高め 未来に繋げ 多様性あるロータリークラブの実現」

週報

Vol.65 No.31

令和5年(2023年)

5月17日

2022-2023年度 クラブのスローガン 「多様性を活かし、ロータリーで楽しもう」

姉妹クラブ: 台湾 高雄東 RC 友好クラブ: フィンランド ロヴァニエミ・サンタクローズ RC ドイツ カールシュタット・アルンシュタイン RC ● 宮城県多賀市 多賀城 RC

会長: 池田 京子 会長エレクト: 柳元 尚喜 会長ノミニ: 盛澤 篤司 幹事: 澤野 正幸

2022-2023年度 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ

2022-2023年度 RI第2730地区ガバナー 山ノ内 文治(鹿児島RC)

市内グループガバナー補佐 A: 上野 欣一(鹿児島東RC) B: 宮内 秀人(鹿児島北RC)

【事務所】

〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10

TEL:099(254)1117 FAX:099(254)1119

E-mail:south-rc@po.minc.ne.jp

【例会日】毎週水曜日 12:30~13:30

【例会場】サンロイヤルホテル

Rotary 【第3060回例会】第7回クラブ協議会 (地区研修・協議会報告)

令和5年5月10日 第3059回例会

- [点鐘] [国歌斉唱]
- [ロータリーソング] 奉仕の理想
- [四つのテスト唱和] 萩原会員
- [ゲストビジター] 米山奨学生の白晏妮さん
準会員入会式の馬麗娜さん
- [4月の出席率] 62.64% 訂正出席率は81.32%

米山奨学生の紹介

白晏妮 (はくあんに) さん
中国吉林省出身 22歳
鹿児島大学水産学部3年生
期間 2023年4月~2025年3月



準会員の入会式

氏名: 馬麗娜 (まらいな) さん
勤務先: 鹿児島大学
先端科学研究推進センター
職業分類: 大学職員
推薦者: 池田会長、武井会員
委員会: フェローシップ委員会



記念品贈呈

【5月生誕生記念品贈呈】
上川咲男会員 (23日)
木脇良知会員 (6日)
武井美智子会員 (10日)



会長の時間

【会長の時間: 米山奨学生の世話クラブとして】

皆様、こんにちは。ゴールデンウィーク、少しはリフレッシュなさいましたでしょうか。
新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが8日、季節性インフルエンザと同じ5類に移行し、個人や事業者は、自主的な感染防止対策を実施するよう求められています。本クラブ例会でのマスク着用については、引き続き個人の判断に委ねられていることを再確認させていただき、よろしくお願いいたします。

さて、令和5年3月31日付けで、地区ガバナー、ガバナーエレクトと鹿児島南ロータリークラブ会長、会長エレクトと、「業務委託に係る覚書」(世話クラブ)に同意いたしましたことをご報告いたします。これは地区がロータリー米山記念奨学会から委託を受けた事業の一部を、世話クラブに委託するに当たり締結するものです。去る4月16日、カウンセラー・米山奨学生オリエンテ

ーションがあり、2023年4月から宮崎に3人、鹿児島に7人の奨学生 [ミャンマー、マレーシア (2人)、韓国 (2人)、台湾、ベトナム、中国 (3人)] を迎えることになりました。鹿児島の世界クラブは、当クラブを入れて市内5ロータリークラブと加治木ロータリークラブ、かのや東ロータリークラブです。

この事業は、内閣府より認定を受け『公益財団法人ロータリー米山記念奨学会』が大学等教育機関に在籍する外国人留学生に奨学金を支給し、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的としています。これまで奨学生は世界129の国と地域とを結ぶものになっており、このことが民間最大の国際奨学事業といわれるゆえんです。米山奨学会への寄付は「普通寄付金」、つまり安定財源として、各クラブが決定した金額を会員数分、毎年全クラブから納入されるものです。また任意寄付の「特別寄付」の2種類あります。米山奨学会が6月に奨学生の地区割当数を決定し、それに伴い地区米山奨学委員会が業務の流れにそって役割を果たします。

現在、在日外国人留学生関連のデータ(2021年度)をみると、高等教育機関においては中国46.4%、ベトナム19.1%、ネパールが8.2%を占めています。先ほどの地区奨学生数と国別人数との関連も理解してもらえないでしょうか。米山奨学生は終了後も日本や世話クラブとの絆を深めている人も多く、一例をあげますと、アメリカ在住の周順圭氏(中国出身: 東大で工学博士を取得後渡米)は、個人として米山記念奨学会への50万ドルの寄付や、東日本大震災や熱海土砂災害にも、奨学会経由で約1000万の寄付の送金をするなど、当時の奨学金や世話クラブで受けた恩恵をいつまでも忘れない人もいます。

本日、白さんは「奨学生バッジ」を付けて例会に出席しております。本クラブで名刺を準備し皆様方とご挨拶(日本語で大丈夫です!)をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。ちなみに、バッジは「日本の心といわれる桜」をモチーフとし、花びらの一つ一つが、これから学識や技術を学んで、花開かんとする奨学生を表しています。集まって、満開の桜の木のように友好の花を咲かせ、日本と世界を結ぶ大きな懸け橋になることを願っているものです。また、私が付けている米山バッジは、重なり合うハートを手で支えているシンボルマークです。重なり合う♥は「ロータリアン」と「奨学生」、奨学事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

皆様、白さんが満開の友好の桜を咲かせることができますよう、よろしくお願いいたします。